

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名:まごころキャンパス

実施日:令和元年11月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		現在の利用人数と障害のタイプであれば問題ない。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			おおむね適切であるが利用者数の増減や利用者のタイプにより不足することもある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	現在は問題ないが、肢体不自由児の受け入れ状況によっては改善が必要となる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		非常勤職員の参加については今後の課題である。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			適切に実施できている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開できている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施できておらず今後の改題である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			機会確保はできているが適切な研修を調べ切れていない。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者面談やアンケート等によりさらに正確なニーズ把握が必要。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		行動分析によるアセスメントができつつあるが、他のアセスメントツールの活用も必要である。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームで実施できているが、その日のスタッフ配置により困難な場合もある。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		活動の幅を広げるよう工夫はしているが、障がい特性などによりうまくいかないことが多い。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		モニタリング実施時に長期休みの課題を検討する必要がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動をより多く実施できるよう検討する必要がある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援実施前にミーティングを行ない当日の支援について情報共有を実施できている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援実施後にミーティングを行ない支援の振り返りを行なっているが、職員の業務内容によっては参加できないこともある。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録の徹底はできているが、記録用紙をモニタリング等に適した様式に変更する予定である。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを実施できている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		行事や創作活動の実施に関して改善の余地がある。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			特別支援学校との連携は密接に取れているが、地域の学校との連携においては改善の余地がある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は医療的ケアが必要な子どもの受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて支援会議への出席要請や保育所・幼稚園等との見学や担当者との面談を実施している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			生活介護・就労支援事業所の責任者との面談や見学の受け入れなどを実施している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	該当する機関が地域に存在しないが、周辺地域の機関が実施する研修を受講する必要がある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在はほぼないため改善の必要性がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			協議会の運営委員会や専門部会(4部会)に職員を参加させている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			必要に応じて口頭連絡・連絡ノート・電子メール・SNS等により保護者と情報共有を図っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	課題把握のための保護者面談を積極的に実施していきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時及び変更時に説明を実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		よりきめ細やかな面談の実施などが必要と考えられる。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者懇談会の実施ができたが保護者連携支援についてはまだ不足している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情や要望対応の連絡先を玄関に掲示し、アンケートへの対応記録をホームページに記載する予定である。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			玄関の掲示や電子メール、SNS等により保護者や子どもへの情報発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			子どもの写真について、管理の規則を検討する必要がある。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障がい特性に配慮した情報伝達を心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	実施できておらず今後の課題である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	策定が進んでいるが、ホームページへの記載などによる保護者への周知が必要である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			訓練の実施ができているが、救急救命法の講習受講等、改善の余地はある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修に責任者が参加し、伝達研修の実施を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			記載をしているが、「やむを得ず」の理由など、その正確性においては改善の余地がある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	医師の指示に基づいているが、書類として指示書が保管されていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			共有できているが、他事業所の事例共有などを今後検討したい。